

北朝鮮の今・朝鮮学校補助金問題 1日セミナー

平成24年5月4日(金)祝日

浦和パルコビル10階 第14集会室 入場無料 要予約

9:30 開場 9:50 開演 16:30 閉会予定

(参加費無料・カンパ大歓迎)

講演・パネルディスカッション

北朝鮮難民救援基金代表 加藤 博氏



「金正日以後の北朝鮮と拉致・人権侵害について」

加藤博氏 プロフィール:1945年福島県生 立教大学卒業 69-76年ベトナム、ラオス、カンボジア、89年ベルリンの壁崩壊など東欧市民革命、90年ソ連邦崩壊、91年シベリアの北朝鮮木材伐採労働者キャンプを取材。98年9月北朝鮮難民救援基金設立に参加。2002年10月中国大連で国家安全局により拘束。著書「地図にない国からの報告」晩聲社、「地図にない国 Kawthoolei」同時代社、「ラバン-フィリピンの黄色い革命」大月書店

ジャーナリスト 野村 旗守氏



「朝鮮総連の資金の流れと工作活動について」

野村旗守氏 プロフィール:埼玉県生 立教大学卒業 外国人向け雑誌の編集者を経て、フリージャーナリストとして独立。週刊誌や月刊誌などに、主として中国、北朝鮮関係のルポルタージュを執筆。「北朝鮮送金疑惑—解明・日朝秘密資金ルート」(文春文庫)「わが朝鮮総連の罪と罰」(文春文庫)「北朝鮮「対日潜入工作」不審船の目的はなんなのか?」(別冊宝島 Real)

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会名誉代表・ジャーナリスト 萩原 遼氏



「朝鮮学校への補助金支出問題について」

萩原遼氏 プロフィール:高知県生 大阪外語大学卒業 1969~1988まで「赤旗」勤務。1972~1973まで平壤特派員。退職後、米国立公文書館の北朝鮮文書160万ページを読破し、「朝鮮戦争」(文春文庫)を著す。「北朝鮮に消えた友と私の物語」で大宅壮一ノンフィクション賞受賞

*要事前予約

連絡先:竹本 090-8815-4986 mail:orion.fox@orange.zero.jp

主催 北朝鮮に拉致された日本人を救出する埼玉の会

当日のプログラム (予定)

第1部

9:30 開場

9:50～ 開演・開会挨拶

10:00～12:00 クロッシング上映とトークショー(検討中)

12:00～13:00 昼食休憩

13:00～ 午後受付

第2部

DVD 上映とパネル討論

13:10 開会挨拶

13:15～13:50 DVD 上映 (拉致関係)

13:50～14:00 拉致被害者家族・特定失踪者家族の紹介

14:00～14:30 基調報告/コーディネーター 加藤 博氏
「金正日以後の北朝鮮と拉致・人権侵害について」

14:30～15:00 コメンテーター 1 野村旗守氏
「朝鮮総連の資金の流れと工作活動について」

15:00～15:30 コメンテーター 2 萩原遼氏
「朝鮮学校への補助金支出問題について」

15:30～15:40 休憩

15:40～16:10 パネル討論

16:10～16:30 質疑応答

16:30～16:35 事務連絡 (司会)

16:35～16:40 閉会挨拶